

世界と未来

皆さんは水を飲みたいとき、どうしますか。私は蛇口をひねります。蛇口をひねれば安全できれいな水がでるので、ほとんどの人がこう答えるのではないでしょうか。

日本の水質基準はいくつもの項目がありそれらの基準値を守らなければ水道水として提供することはできないからです。こうして厳しい項目を守っているからこそ、私たちは安全に水道水が飲めるのです。ですが、世界中に水道水が利用できる国はわずかしかなかく、アジアでは日本のみだそうです。

なぜ、水道水が飲めない国が多いのでしょうか。調べて知ったのは国土の面積やコストの問題だということです。飲める水道水を作るためには浄水処理をする必要があるのですが、これをするには高度な技術と莫大なコストがかかります。です。水道水を安全に

山添村立山添中学校 二年

山口 智子

飲める国は少ないというわけです。

また、発展途上国では水道自体がない国も珍しくなく深刻な水不足に悩まされているケースもあります。テレビに流れる少女は何時間もかけて水源にたどり着き、バケツやタンクに水をくんで再び歩き出します。くんだ水は茶色く飲めそうにもありません。ですがその少女は嬉しそうな顔をしてぐいっと飲み始めました。そんな子供たちを支援するユニセフのサイトのページにはこう書かれています。「やつとの思いで手に入れた水は、命と未来を奪う水」。私は胸を痛め、そして同時にホっとしました。改めてきれいな水がいくらかでも使える生活に、環境に幸せを感じました。

ですがホっとしていられる状況ではありません。こうして暮らしていれば水はいくらで

もあるように感じてしまいましたが、水不足は日本にも訪れます。なぜなら、地球に存在する水のほとんどが海水で残った淡水のうち約七〇パーセントが氷の状態で存在しているからです。そして凍っていない水のほとんどは地下水で地中深くにある水は使えません。なので私たちが実際に使える水の量は少なく、将来的には日本も水不足に陥ることが予測できるとは思います。

もし、水不足が実際におこってしまうとどうなるのでしょうか。私は水をめぐる戦争が始まると思います。世界各地では水資源配分の問題や水質汚濁の問題などが原因で、現在でも水紛争が起きています。水不足が実現してしまうと、より過激な争いが起きることが想像できます。

私が住んでいる近畿地方では南海トラフ地震が四〇年以内に高い確率で発生することが予想されています。地震が起きれば水道は止まり使えなくなってしまうと、国土交通省が震災を経験した市民に意識調査を行うという「震災後、最も困ったのは生活用水」という意見が最も多く、南海トラフ地震が発生して

も同じことになるでしょう。そう考えれば私たちにも関係が出てきます。だからこそまずは自分の意識を変えて、家族へ地域の人へ広めることが大切なのではないでしょうか。

水は蛇口をひねれば出てくる、と認識できるのは良いことでもあり悪いことでもありません。水はなくならないものだと思います。扱おうという気持ちが増少してしまいます。私もそのなかの一人でした。水には限りがあり、その限りを訪れるのが遠い未来だったとしても水を限りある資源だと認識して大切に使うことが大切だと思えます。水が尽きることはないと思われ、未来のために。